

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	認知科学特論		
英文授業科目名	Topics in Cognitive Science		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	久野 雅樹		
居室	東1-509		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hisano@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>認知科学は、知性をめぐる諸問題について研究する学際的で総合的な学問であり、哲学、言語学、心理学、人工知能学、脳科学など、文理の諸科学と密接な関連をもつ。本講義では、言語の問題を中心として、実験、調査、コンピュータシミュレーション等の多様な方法論により得られた認知科学の成果を取り上げ、ヒトの知性に関する理解を深めることを目標とする。またこの領域の内容について学ぶとともに、英文テキストを読み、関連文献を参照して調べ、自ら考える力を養う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
Pinker, S. 1997 How the mind works. New York: W.W. Norton. (予定; ペーパーバックあり, 邦訳あり)

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

具体的な内容と進め方については、参加者の関心と人数とを考慮して決めたい。上記教科書を使う場合、受講者による発表に基づくディスカッションを中心に進める予定である。また、授業の効果を高めるために、メイリングリストも活用する。

使用予定のテキストの主な内容は以下の通り。

- 第1章 心の構造--情報処理と自然淘汰
- 第2章 思考機械--心を実感するために
- 第3章 脳の進化--われら石器時代人
- 第4章 心の目--網膜映像を心的記述に転じる
- 第5章 推論--人は世界をどのように理解するか
- 第6章 情動--遺伝子の複製を増やすために
- 第7章 家族の価値--人間関係の生得的動機
- 第8章 人生の意味--非適応的な副産物

【成績評価方法および評価基準】

発表内容、授業の理解度・参加度、レポート等をもとに総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日17:00-18:00のオフィスアワーには、原則として研究室にいます。

来室する場合、なるべくメールでアポイントをとるようにしてください（必要があればこの時間以外にも対応します）。

【学生へのメッセージ】

学問的なものであれ、日常的なものであれ、およそ「すべての道は認知に通ず」と言えます。「認知」という観点をもつことによって、今後の研究をはじめとする様々な活動に広さや深さがもたらされたいいな、と思っています。